

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			小集団活動スペースと学習などの個別スペース等使い分けをし、有効に活用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		室内はバリアフリーになっているが、玄関には段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の振り返りを行い、常に業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表等を活用し、保護者の意見を取り入れながら対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			顧問医師による評価を参考にし、業務改善に努めている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修への参加や、Zoomを活用した社内研修を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に職員で所内会議を基に作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者様の特性把握や能力に関する情報を得る為、有効に活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			教室内チームのほか、他教室とも連携を取り行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用児の希望を取り入れながら、様々な活動ができるよう準備をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には、創作活動やイベントなどの課題を設け取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれの活動において、各自の特性や個性に寄り添ったサービスを提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、ミーティングを行い、職員間共有を図っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には振り返りを行い、当日、または翌日の支援前までに、職員間での共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援終了後には支援内容を記録し、各自の課題の検証や改善を行っている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを実施し、必要時には都度連携を取り計画の見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインの総則を常に意識し、支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			役員その他、児童発達管理責任者や室長が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			下校時に学校との情報共有や毎週のおたよりの確認等、適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	エール教室では受け入れを行っていないが、日出教室や酒田東泉町教室を案内するようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			ケース会議などを通して、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	エール教室では現在実績なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要時には、連携を取り、意見交換を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在コロナ感染防止のため、本年度実績なし。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			子ども部会へ参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時や送迎時に保護者様との情報共有を行っています。必要に応じ連絡ノートも活用しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			コロナ禍につき回数は少ないながら、茶話会等開催し、ペアレントメンターとの意見交換を行うなどの支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時の説明、利用のしおりやパンフレットやホームページ等で情報を公開している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			お迎え時や送迎時に保護者様との情報共有を行い、必要時には、面談や療育相談などを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			毎年、保護者会を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談があった際には迅速に対応している。適切に対応できるよう苦情申出窓口を設置し、職員間でも内容の共有、相談を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回、メグシ通信を発行。各事業所ごとのメグシだよりにて活動報告や予定等を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			社内で研修会も行き、個人情報の取り扱いには十分注意している。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者の特性に合った方法を考え、意思疎通や情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ感染防止のため、今年度の実績はなし。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			毎月1回の訓練を行っている。社内研修を行い職員のマニュアル周知も行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、地震、火災、水害等、内容を変えながら防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止の社内研修を行い、また社内に対策チームを作り対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	実例はまだないが、きちんと説明し、了承を得るよう対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様からの情報に基づき、個別に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を職員で共有し、環境の改善等対応をとっている。